



一般社団法人日本健康麻将協会『憲章』

健康マージャンは高齢社会となった我が国にとって必要不可欠な存在となり、知的で健康的なコミュニケーション・ツールとして再認識されている。

私たちが提供する健康マージャン開催会場には多くの高齢者が訪れ、

《健康》を維持し

《生きる》喜びを感じ

《ふれあい》の輪を広げる。

そうした方々から大きな支持を得られていることを、私たちは『誇り』に思う。そして《健康マージャンに触れることが私のいきがい》と言ってくれる人の喜びを自らの喜びとして明日の糧とする

日本健康麻将協会は、こうした私たちによって構成された団体です。

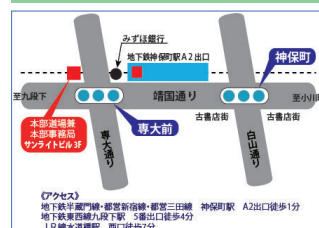
春の健康麻将祭 Wellness Mahjong Festival nation 6 competition 2018

協賛/株式会社鳳凰

5月の言葉

まず疑い、次に探求し、そして発見する
(英歴史学者 バックル)

本部事務局・本部道場 地図



第12期健康麻将名人戦

第6期健康麻将十段戦優勝に続く2冠
斉藤英明(横浜統括)さん優勝!
名人位に輝く

2018年3月26日、KKRホテル東京において、第12期健康麻将名人戦と併設の第9期健康麻将小島武夫杯が開催され、横浜統括支部シルバー所属の斉藤英明さんが初の名人位に輝き、元プロ野球選手の加藤哲郎さんが小島武夫杯を制した。

今期のゲスト出場者は、次の通り。
勝間和代(経済評論家・第11期健康麻将名人)

灘麻太郎(プロ連盟名誉会長・第10期健康麻将名人)

宝田 明(俳優)

仲本工事(元ドリフターズ)

三代純歌(歌手)

加藤哲郎(元プロ野球選手)

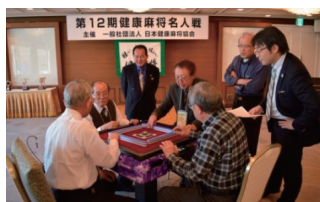
三遊亭楽麻呂(落語家)

以上の7人、これを迎え討つ協会会員の出場者は、次の通り。

全国大会から、綱島英雄(有楽町



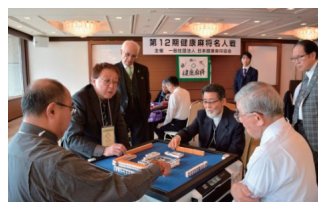
右より2人目、優勝の斉藤英明さん、その左に準優勝の塩入宏明さん、右に三位の皆川英明さん、左より2人目が四位の今里文雄さん。左端はプレゼンターの田邊恵三協会会長。開会の挨拶をする田邊恵三協会会長。



決勝戦に進出した斉藤、塩入、皆川、今里の4選手。珍しく協会選手のみの戦いだ。

支部・錦江荘)、井上清治(渋谷統括・ガラパゴス)、富山浩邦(武里いきいき)、佐野弘子(渋谷統括・ガラパゴス)の4選手。

十段戦から、斉藤英明(横浜統括・シルバー)、皆川智秀(越谷支部・ジャン)の2人。



ゲスト灘麻太郎プロは、やはり注目の的だったが、今期は振るはなかった。

全国チャンピオン戦から、三原忠(越谷支部・ジャン)、末安健一(厚木支部・つば会)、塩入宏明(武里いきいき)、今里文雄(渋谷統括・ガラパゴス)の4選手。

優良開催会場から、易田昌則(杉並統括・杉並いきいき)、伊藤実(高



恒例宝田明賞は、女性最上位成績の中島芳子(横浜統括)さんに贈呈。

田馬場支部・ガラパゴス)、越川英明(東村山支部・園)、中島芳子(横浜統括・シルバー)、中澤信子(千代田統括)、細野文俊(茨城県南支部・あすなろ)、小針貴司(両国支部・かぼちゃ倶楽部)の7選手。

以上24選手の激突戦だった。

併設タイトル戦 第9回健康麻将小島武夫杯

制したのは、加藤哲郎(元プロ野球選手)さん

健康マージャン講師としても大人気!



祝賀会乾杯音頭とご挨拶、宝田明さん



中央に、元ドリフターズの仲本工事さん

名人戦の仕組みは、半チャン4回戦を予備戦とし、4回戦終了時、上位4選手が決勝2回戦に進出する。残りの20選手は、併設タイトル戦の小島武夫杯に出場できる、というユニークなシステムを維持している。

選手には二つのタイトル戦に出場でき、二度楽しめるという好評。

さてその小島武夫杯、今期はゲストプロ全員が出場した。ということは、珍しく名人戦の決勝戦には全員出場できなかった。

そのような状況の中、元近鉄の野球選手で、現在健康マージャン講師としても話題の加藤哲郎さんが、第9回小島武夫杯を制した。

準優勝の三代純歌(プロ歌手)さん、仲本工事夫人でもある



準優勝は、歌手の三代純歌さん、3位は中島芳子(横浜シルバー)さん。毎回話題を提供している「健康麻将名人戦&小島武夫杯」だが、今期は大阪の健康マージャン界で注目の人物である加藤哲郎さんの優勝でまた大きな話題となるだろう。

実質的には、名人戦の下位戦であ

優勝の加藤哲郎(元プロ野球選手)さん



三位の中島芳子(横浜シルバー)さん。プレゼンターは斎藤理事長代行。

るのだが、そう思わせない魅力が小島武夫杯にはある。